



1973



1979



1996



2006



祝150周年 2023

2023

夏休みもいよいよ中盤。今日で残りあと二五日間となりました。子どもたちは元気に過ごせているでしょうか。巷ではコロナが流行っているようです。学校関係者のコロナ罹患もよく耳にしますが、本校職員は生来の免疫の強さなのか気合いなのか、私の知る限り現在の罹患者はゼロです。子どもたちもせっかくの夏休みですので、健やかに過ごせるようお願いしています。

さて、本校は明治六年の学制の制定に伴い、須屋校と黒石校の二校が開校したことが始まりです。その後、明治三八年に須屋校と、黒石校が合併して、須屋黒石尋常高等小学校となりました。「西合志南小学校」という名前になったのは昭和二八年です。昭和三二年には再春荘分校が開校し、それが今の県立黒石原支援学校となりました。そして、昭和五八年に西合志東小学校に分離しました。このように西南小が大元になって、近隣の学校が生まれているという事実は、何だか誇らしいです。今年が開校一五一年目になります。

一昨年度に、実行委員会が立ち上げられました。開校一五〇年を祝い、さらに飛躍を上げるために何が出来たかを、ここでも地域の方々に支えられながら検討してきました。

十一月十六日(土)に、記念式典を行う予定です。記念式典には、地域の方々をはじめ本校の卒業生をお招きします。また、昭和四八年の一〇〇周年以降の歴代の校長先生方もお招きします。私は四四代なのですが、二三代以降が対象なので二〇人おられます。亡くなった方もおられますが、半数以上の方々は今もお元気にされています。

記念講演には、つい先日第一九回世界剣道選手権大会団体戦でキャプテンとして出場し見事優勝された、熊本県警の渡邊タイさん



(平成十六年度卒業生)にご講演いただきます。剣道界のレジェンドですが、西南小の子どもたちにとっては、より身近な憧れの存在です。子どもたちも教室でオンライン視聴します。身近な存在だからこそ、お話の中から子どもたちが得るものは大きいはずですが、本校の強みは地域とのつながりです。実行委員会では、そうした強みを生かしてさら

つなごろう

この日はたくさんの方の再会や出会いがあることを期待します。一五〇周年はきっかけにすぎません。今後も、子どもたちの健やかな成長のために一層地域とのつながりを大切にしていきます。いい一日にしたいですね。

祭りの予感？



ワッショイ!
ワッショイ!
職員作業!
みんな汗だく!
職員作業!
コロナも吹っ飛ばす職員作業!

夏休みは、片付けの期間でもありますが。倉庫には、気づけば捨てる物が多数です。何せ一五〇年ですから。